

ライチ便り No. 56

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2023年7月号～
<http://lychee-club.jp/>

7月に入り、博多の街は山笠でにぎわっています。前回2月に「ライチ便り」を発行してから半年近く。発行を担当している私（千葉理事長）の入院などもあって、ずいぶん時間がたってしまったことを、深くお詫びします。この間、5月19日には、4年ぶりに対面による年次総会も開催し、ポストコロナの活動に着手する準備が整いました。あとは、航空路線やビザ等、周辺の条件が好転するのを待つといったところです。

コロナ後、広州からの来福第1号は劉少卿さんでした



5月23日に劉少卿さんから「今、福岡にいるよ」と電話を受けて驚きました。一人で福岡に来ており、28日に名古屋へ移動してご主人と合流するとのこと。1989年に日本語研修生として1年間福岡に滞在し、その後長年広州市側の交流担当者として活躍した劉さんは、大の福岡好き。福岡に友人も数多く、コロナ前にはしばしば「今、福岡にきてるよ」と連絡があったものです。今回福岡の街を歩いて、劉さんは「日本は不景気なんだな、中国の方が市場に活気がある」と感じたそうです。

広州大学の郭詩音さんが来福しました

6月23日(金)に広州大学4年生の郭詩音さんと交流会を行いました。

郭詩音さんは、2021年3月27日に広州で開催された第33回広州地区大学生日本語弁論大会で福岡市賞を受賞した学生です。副賞として、福岡でのホームステイ体験を受賞されたものの、コロナの影響で日中間を自由に行き来できなかつたため、なかなか来福が実現できませんでした。当時、広州大学の日本語学科の2年生として勉強していた郭詩音さんでしたが、4年生になった今年、ようやく日本に来られるようになったことから、6月21日～27日の日程でホームステイにやってきました。



福岡広州ライチ倶楽部では、郭詩音さんの滞在時間の一部をいただき、会員有志及び福岡に留学している仏山市出身の大学生・黄さんと、歓迎交流会を開催しました。郭詩音さんは初来日。だけど、とても流暢な日本語を話します。初めて食べる福岡の水炊きを美味しそうに食べていたの

が印象的でした。「実際に福岡に来てみると、とても住みやすそうな街だと感じています」と郭詩音さん。福岡で沢山の思い出をつくって、しっかり福岡ファンになったようでした。郭詩音さんは、卒業後、河北省秦皇島の大学院に進学することになっているとのこと。これを縁に、今後も末長く、福岡との交流を続けていてもらいたいものですね。

第9回「広州まちかどセミナー」開催



6月24日(土)に第9回広州まちかどセミナーを開催しました。今回のテーマは、「新鮮なライチを食べに広州に行こう！～バーチャルライチ狩りツアーを開催～」でした。

6月中旬から7月中旬にかけて、広州はライチの季節を迎えます。福岡広州ライチ倶楽部では、ライチの名前にちなみ、例年ライチ狩りに出掛けていましたが、コロナ発生以降、以前のように渡航が簡単にできなくなったことから、この数年はライチを食べられずにいます。そこで、今回の「広州まちかどセミナー」では、広州にいる魯仲さんに現地でライチ狩りツアーを企画してもらい、参加者とライチ狩りツアーに出掛けてもらいました。当日は、その模様をライブ配信し、美味しく実ったライチの様子を実況してもらいました。

見ている方は、ただただライチが食べたくなるだけの配信でしたが、ライチの品種やエピソードを紹介し、実際の様子も見られたことで、参加いただいた方からも「面白かった」との声をいただきました。

広州まちかどセミナーでは、今後も、不定期ながら現地からの情報をネットでつないで配信していきたいと思っております。興味があるテーマなどありましたら、是非ともご意見お寄せください。どうぞよろしくお願いいたします。



📧 ライチの実を見せてくれる
魯仲さんジュニア

*当倶楽部のHPと各種SNSを開設しています。是非アクセスしてみてください。

*会費未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人：3000円 団体：一口10000円

*会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。